

耐災害 ICT 研究活動 (2015 年)

<論文>

国内研究会、等 (査読なし)

1. 遠藤力, 宮崎寛之, 安達文幸, “アナログネットワーク符号化を用いる非再生中継用時空間ブロック符号化中継伝送への循環遅延ダイバーシチの導入効果,” 信学技報, vol. 115, no. 472, RCS2015-356, pp. 139-144, 2016年3月. (2016年3月2日)
2. 遠藤力, 宮崎寛之, 安達文幸, “アナログネットワーク符号化を用いる時空間ブロック符号化双方向中継伝送のための循環遅延パイロットチャネル推定法に関する一検討,” 信学技報, vol. 115, no. 288, RCS2015-210, pp. 121-126, 2015年11月. (2015年11月5日)
3. 遠藤 力, 宮崎寛之, 安達文幸, “3 本以上の中継局アンテナを用いる協調 AF 中継伝送のための時空間ブロック符号化,” 信学会無線通信システム研究会, 岡山大学, 2015年1月23日.
4. 遠藤 力, 宮崎寛之, 安達文幸, “循環遅延ダイバーシチを用いた時空間 ブロック符号化 AF 中継伝送,” 信学会無線通信システム研究会, 東京工業大学, 2015年3月6日.
5. 遠藤力, 宮崎寛之, 安達文幸, “時空間ブロック符号化 AF 中継伝送に及ぼすドップラーシフトの影響,” 信学会総合大会, 立命館大学, 2015年3月10日.
6. 遠藤力, 宮崎寛之, 徳田清仁, “安達文幸時空間ブロック符号化 AF 中継の実験評価,” 信学会無線通信システム研究会, 北海道大学, 2015年6月24日.
7. 遠藤力, 宮崎寛之, 安達文幸, “アナログネットワーク符号化を用いた時空間ブロック符号化双方向協調中継に関する一検討,” 信学会無線通信システム研究会, 福岡大学セミナーハウス, 2015年8月17日.
8. Masanori Horiuchi, Hiroki Nishiyama, Nei Kato, Fumie Ono, and Ryu Miura, "Throughput Evaluation of Real-time Data Transmission over Multiple UAVs," 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 115, No. 241, SAT2015-37, pp. 105-108, Oct. 2015.

9. 小泉 友和, 本良 瑞樹, バンダ ダリソー, 和田 平, 亀田 卓, 末松 憲治, 高木 直, 坪内 和夫, “ダイレクト RF アンダーサンプリング受信用 Ku 帯直並列スイッチ形 S/H IC,” 信学技報, MW2015-51, 2015 年 7 月.
10. 則島 景太, 小泉 友和, 本良 瑞樹, バンダ ダリソー, 亀田 卓, 末松 憲治, 高木 直. 坪内 和夫, Ka 帯ダイレクト RF アンダーサンプリング受信用サンプル・ホールド CMOS IC,” 信学ソ大, C-2-8, 2015 年 9 月.
11. 亀田 卓, 末松 憲治, 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発 : ソフトウェア無線技術を用いたマルチモード VSAT の開発と実証実験, マイクロエレクトロニクス研究会, 2015 年 11 月.
12. 則島 景太, 小泉 友和, 本良 瑞樹, 亀田 卓, 末松 憲治, 高木 直, 坪内 和夫, "Ka 帯ダイレクト RF アンダーサンプリング受信用 CMOS S/H IC," 信学技報, MW2015-123, Nov. 2015.
13. 廣岡俊彦・葛西恵介・王怡昕・中沢正隆・白岩雅輝・淡路祥成・和田尚也, “120 Gbit/s, 64QAM コヒーレント光信号の ROADM ノード間伝送,” 電子情報通信学会 2015 年ソサイエティ大会, B-10-44, September (2015).
14. 箕輪守彦・関宏之・奥村幸彦・須山聡・大高明浩・木村俊二・中津川征士・浅野弘明・市川泰史・平野幸男・山尾泰・安達文幸・中沢正隆, “5G 実現に向けた超高密度マルチバンド・マルチアクセス多層セル構成による大容量化技術の研究開発の概要,” 信学技報, NS2015-134, December (2015).
15. 大江貴裕, 水野淳太, 稲田和明, 乾健太郎. 文間弱対立関係認識のための Natural Logic の拡張. 人工知能学会第 29 回全国大会, 4K1-4in, 4 pages, June 2015. paper (JSAI)
16. 清野舜, 渡邊研斗, 岡崎直観, 乾健太郎. Bi-gram 接続表と単語列変形規則に基づく回文自動生成. 人工知能学会第 29 回全国大会, 3G3-0S-05a-6, 4 pages, June 2015. paper (JSAI)
17. 高瀬翔, 岡崎直観, 乾健太郎. 関係知識獲得のための意味表現の学習. 人工知能学会第 29 回全国大会, 2C3-0S-06b-2, 4 pages, May 2015. paper (JSAI)
18. 栗原理聡, 佐々木彬, 松田耕史, 岡崎直観, 乾健太郎. Twitter を利用した地域毎の要望抽出. 人工知能学会第 29 回全国大会, 1H3-3, 4 pages, May 2015. paper (JSAI)
19. 五十嵐祐貴, 大野雅之, 岡崎直観, 乾健太郎. キーワードの自動拡張に基

- づくイベント言及ツイートの収集. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 214-217, March 2015.
20. 周双双, Canasai Kruengkrai, 乾健太郎. Exploring Linguistic Features for Cross-document Named Entity Disambiguation. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 373-376, March 2015.
 21. 山本風人, 井之上直也, 乾健太郎. 言語処理のための仮説推論エンジン Phillip. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 377-380, March 2015.
 22. 高瀬翔, 岡崎直観, 乾健太郎. 構成性に基づく関係パタンの意味計算. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 640-643, March 2015.
 23. Paul Reisert, Naoya Inoue, Kentaro Inui, Toshihiko Yanase, Kohsuke Yanai. Computationalizing a Toulmin Model for Argumentation Generation. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 828-831, March 2015.
 24. 中山周, 松林優一郎, 乾健太郎. 日本語述語項構造解析のための統語パターン分析. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 1028-1031, March 2015.
 25. 成田和弥, 水野淳太, 上岡裕大, 菅野美和, 乾健太郎. 機能表現に基づく日本語事実性解析. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 1032-1035, March 2015.
 26. 宇津木舞香, 稲田和明, 金子貴美, 戸次大介, 乾健太郎. 形式意味論に基づく出来事間関係認識に向けて-リソース構築の展望とテンス「タ」のアノテーション. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 1036-1039, March 2015.
 27. Maharjan Sumit, 齋藤真樹, 山口光太, 岡崎直観, 岡谷貴之, 乾健太郎. Learning Visual Attributes from Image and Text. 言語処理学会第 21 回年次大会, pp. 1048-1051, March 2015.
 28. 渡邊研斗, 松林優一郎, 乾健太郎, 後藤真孝. 大規模歌詞データからの潜在的トピック遷移のモデル化. 情報処理学会 第 77 回全国大会予稿集, pp. 371-372, March 2015.
 29. 上岡裕大, 成田和弥, 菅野美和, 水野淳太, 乾健太郎. 日本語文における機能表現意味ラベル付与と事実性解析への効果. 情報処理学会 第 77 回全国大会予稿集, pp. 221-222, March 2015.
 30. 稲田和明, 松林優一郎, 乾健太郎. 日本語文内で表現されるイベント間の時間的な順序関係の認識. 情報処理学会 第 77 回全国大会予稿集, pp. 225-226, March 2015.

31. 松田耕史, 佐々木 彬, 岡崎直観, 乾健太郎. 場所参照表現タグ付きコーパスの構築と評価. 情報処理学会研究報告 自然言語処理 (NL), 2015-NL-220(12), pp.1-10, January 2015.
32. 宮下知理, 崔正烈, 坂本修一, 森本政之, 鈴木陽一: “ロングパスエコー環境下の単語了解度における単語間ポーズの効果,” 日本音響学会 2015 年春季研究発表会, 2015. 3.
33. 末松 憲治, 亀田 卓, 小熊 博, 笹沼 満, 江口 茂, 黒田 幸明, “災害時に有効なマルチモード可搬型 VSAT,” 信学技報 MW2014-184, pp.19-23, Jan. 2015.
34. 小泉 友和, 本良 瑞樹, バンダ ダリソー, 和田 平, 亀田 卓, 末松 憲治, 高木 直, 坪内 和夫, Ku 帯ダイレクト RF アンダーサンプリング受信用サンプル・ホールド CMOS IC, 信学総大 C-2-6, 2015 年 3 月.
35. 廣岡俊彦・葛西恵介・王怡昕・中沢正隆・白岩雅輝・淡路祥成・和田尚也 「120 Gbit/s, 64 QAM コヒーレント光信号の ROADM ノード間伝送」2015 年電子情報通信学会ソサイエティ大会, B-10-44, 2015 年 9 月 10 日.
36. 菅原 健太, 川崎 鉄哉, Binti Hussin Mastura, 玉虫 元, 末光 眞希, 吹留 博一, 可児 淳一, 寺田 純, 桑野 茂, 岩月 勝美, 末光 哲也, 尾辻 泰一, “グラフェンチャネル FET のサブテラヘルツ帯ミキサ応用,” 第 62 回応用物理学会春季学術講演会 予稿集, 13a-A14-9, 13, 平塚, 13 March 2015.
37. 中川靖士, 高橋広嗣, 実藤 亨, 木下哲男, “メッシュ型地域ネットワークのプラットフォーム技術の研究開発,” 信学技報, vol. 114, no. 417, MoNA2014-86, pp. 129-134, Jan. 2015.
38. 北形元, 鈴木遼雅, 高橋秀幸, 笹井一人, 木下哲男, “地域型サービスの安全な個人化に関する検討,” 信学技報, vol. 114, no. 417, MoNA2014-64, pp. 37-40, Jan. 2015.
39. 宮原 悠輔, 打矢 隆弘, 内匠 逸, 木下 哲男, “公共利用向けのクラウド型エージェントフレームワークの試作,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO2015)シンポジウム論文集, 2F-3, pp.419-424, 2015.7.9.
40. 加藤 義隆, 打矢 隆弘, 内匠 逸, 木下 哲男, “広域分散エージェントトリポジットリに対する管理運用機構の開発,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO2015)シンポジウム論文集, 7D-3, pp.1496-1501, 2015.7.9.
41. Lana Sinapayen, Keisuke Nakamura, Kazuhiro Nakadai, Hideyuki Takahashi, Tetsuo Kinoshita, “Consensus-based Sound Source

- Localization using a Swarm of Micro-Quadrocopters," 第33回日本ロボット学会学術講演会, Sep. 2015.
42. 蜂谷 雄介, 高橋 秀幸, 笹井 一人, 北形 元, 木下 哲男, "能動的情報資源に基づく創造活動支援システム," 電子情報通信学会 2015 年ソサイエティ大会, Sep. 2015.
 43. 加藤 匠, ポン ジャオチン, 高橋 秀幸, 木下 哲男, "IoT 向けエージェントによる柔軟なホームセキュリティサービス構成法," 第25回 インテリジェント・システム・シンポジウム (FAN 2015), Sep. 2015.
 44. 谷村 優介, 笹井 一人, 北形 元, 木下 哲男, "動的に変化するネットワークシステムのための知識型障害解決支援システム," 第23回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2015)論文集, pp.156-163, Oct. 2015. (優秀論文賞)
 45. 中村 圭佑, ラナ シナパヤ, 中臺 一博, 高橋 秀幸, 木下 哲男, "小型クアドロコプタの群を用いたコンセンサスに基づく音源定位," 人工知能学会第43回 AI チャレンジ研究会論文集, JSAI Technical Report, SIG-Challenge-043-07, pp.35-40, Nov. 2015.
 46. 笹井 一人, 郡司 ペギオ幸男, 木下 哲男, "エージェントの限定的な視野に基づく市場モデルとその性質," 計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会 2015 (SSI 2015), pp.729-730, Nov. 2015.
 47. 北形 元, 久保田 恭守, 高橋 秀幸, 笹井 一人, 木下 哲男, "移動型エージェントによる安全なサービス個人化手法," 信学技報, vol. 115, no. 436, MoNA2015-39, pp. 13-17, Jan. 2016.
 48. 久保田 恭守, 北形 元, 高橋 秀幸, 笹井 一人, 木下 哲男, "移動型エージェントを用いたセキュアな個人化電子メニューシステム," 信学技報, vol. 115, no. 436, MoNA2015-41, pp. 25-27, Jan. 2016.